

オルフオイス IV

君が逢へた時に
豎琴は草の上に置いたらうか
愛するものの ひざの上に
あるひは置いたのではないだらうか

豎琴の上に落ちる涙が
しづかにかなでた歌さへが
君のいつもの調べであつたらう
君は愛するものをひざの上に

抱きあげて
樹蔭で
時をすごしたのだらう

あの不幸のやつて来るまへに
君は 澄んだ青い空を見上げたりして
オルフオイスよ 時はすぎて行く